

## 第4章 建築工事完成図書

### 第1節 適用範囲

#### 下-4-4-1-1 完成図書

要領は大阪市建設局が発注する下水道施設にかかる建築工事の完成図書（電子納品媒体）の作成に適用する。

#### 1. 電子データの格納媒体

- ① 電子データを格納する媒体は、CD-R等とする。
- ② CD-Rのフォーマット形式は、IS09660（LEVEL1）とし、DVD-Rのフォーマット形式はUDF（UDF Bridge）とする。

#### 2. 媒体管理情報の作成

CD-R等のラベル面には、媒体管理情報を印刷又は貼付し、表面に損傷をあたえないように留意すること。記載項目は、次のとおりとする。

- ① 管理番号  
7桁の起工番号（完成年度）を記載する。
- ② 媒体番号  
媒体番号を記入する。（一枚の場合は除く）  
[記載例 : 1/2、2/2]
- ③ 発注者名  
「大阪市建設局」と記入する。
- ④ 施工場所  
下水処理場名・抽水所名等を記入する。  
[記載例 : ○○下水処理場、○○抽水所]
- ⑤ 工事名称  
工事名称を記入する。（ただし、施工場所は除く）  
[記載例 : ○○棟○○工事]
- ⑥ 図書名称  
「完成図書」と記入する。
- ⑦ 分類  
（建築）とする。

⑧ 完成年月

完成年月を記入する。(日は記入しない)

[記載例 : 令和〇〇年〇月]

⑨ 受注者名

(ア) 受注者名を記入する。

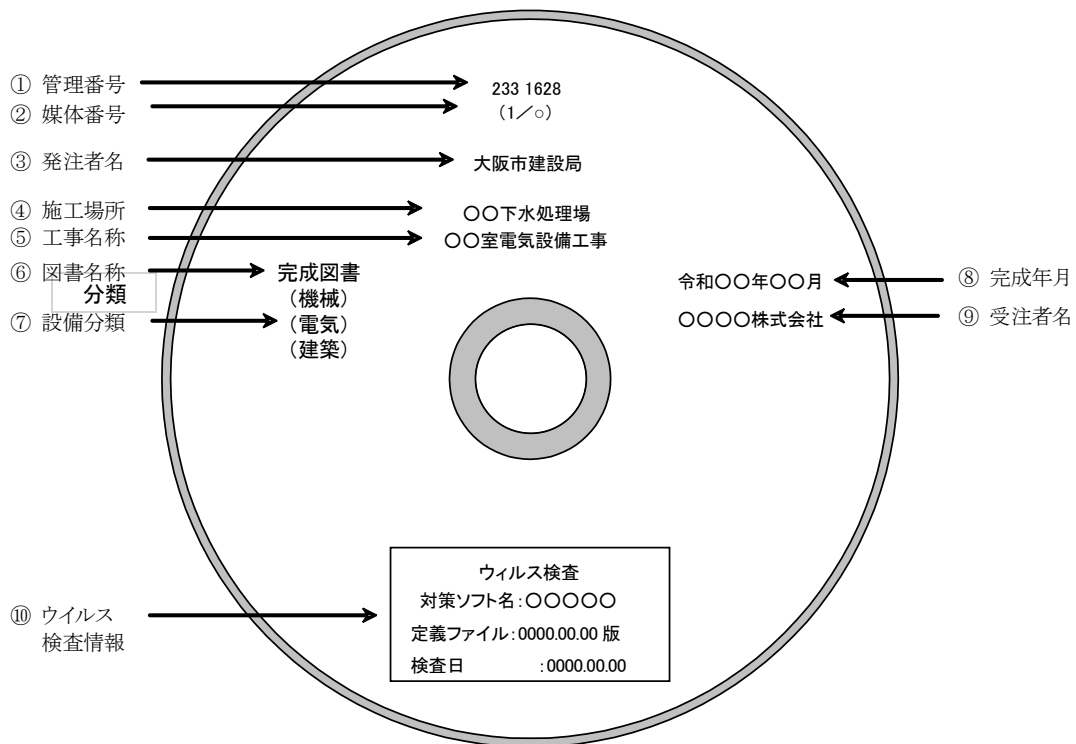
(イ) 代理人契約の場合は、代理人名及び施工業者名を併記する。

⑩ ウィルス検査情報

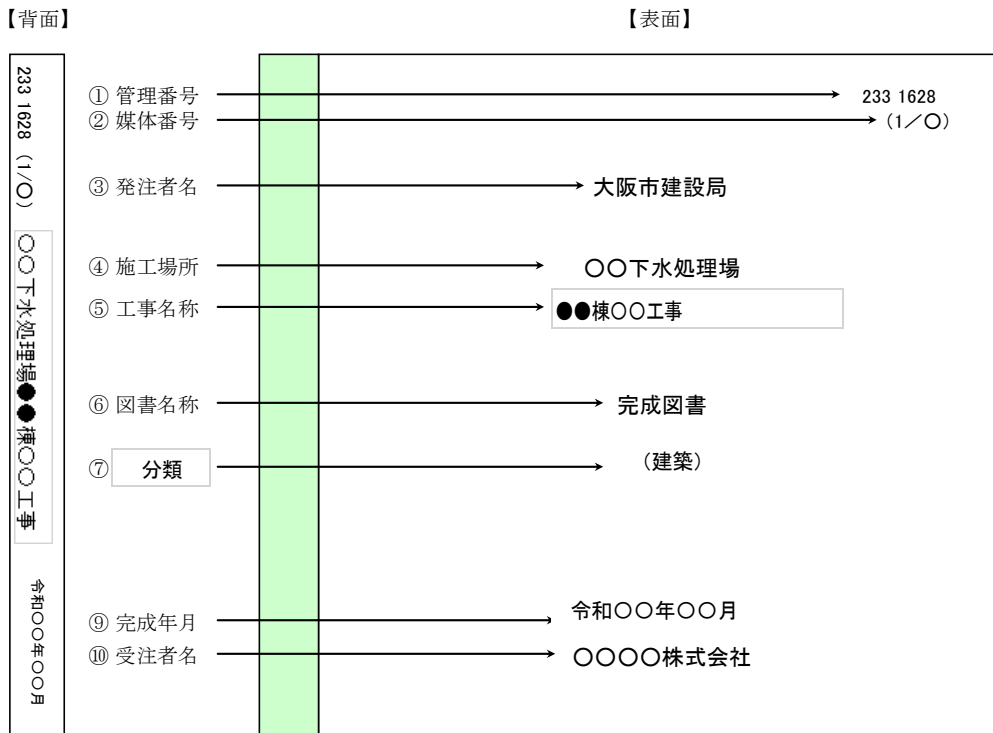
(ア) ウィルス検査に使用したウィルス対策ソフト名を記載する。

(イ) ウィルス検査に使用したウィルス定義ファイルの版(日付)を記載する。

(ウ) ウィルス検査を行った日付を記載する。



工事媒体管理情報 (CD-R等)



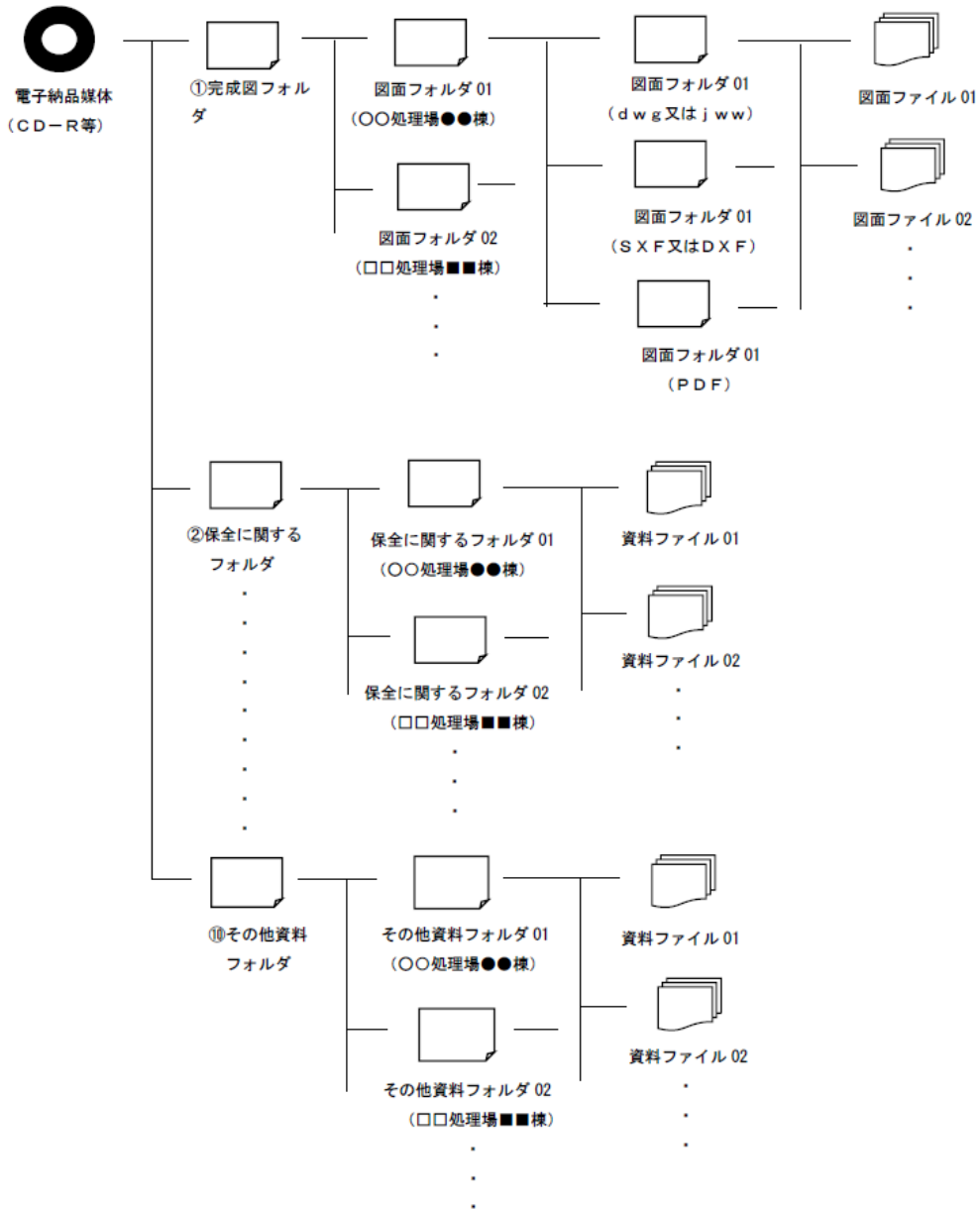
工事媒体管理表（格納ケース）

### 3. 格納フォルダの構成

格納するフォルダは次図を標準とし、フォルダに格納する図面・資料ファイルの詳細は監督職員との協議による。完成図書が複数の下水道施設、棟等に区分される場合は2次フォルダを区分して格納する。

- ① 完成図フォルダ  
 工事完成図の図面ファイルを格納する。
- ② 保全資料に関するフォルダ  
 保全に関する資料ファイルを格納する。
- ③ 施工計画書フォルダ  
 施工計画書ファイルを格納する。
- ④ 工程表フォルダ  
 工程表ファイルを格納する。
- ⑤ 工事打合せ簿フォルダ  
 打合せファイルを格納する。
- ⑥ 機材関係資料フォルダ  
 機材関係資料ファイルを格納する。
- ⑦ 施工関係資料フォルダ  
 施工関係資料ファイルを格納する。

- ⑧ 検査関係資料フォルダ  
検査関係資料ファイルを格納する。
- ⑨ 発生材関係資料フォルダ  
発生材関係資料ファイルを格納する。
- ⑩ その他資料フォルダ  
その他資料ファイルを格納する。



#### 4. ファイルの形式

- ① 完成図等の図面ファイルは次のデータ形式による格納【(ア) + (イ) + (ウ)】を標準とする。
  - (ア) d w g 形式又は j w w 形式
  - (イ) S X F 形式又は D X F 形式
  - (ウ) P D F 形式
- ② その他の資料ファイルは P D F 形式を標準とし、その他の形式を使用する場合は監督職員との協議による。